

# 農業ワールドで講演

## イスラエルに学ぶハイテク農業

サンホープ  
学ばうハイテク農業へ自動  
化・省力化が日本の農業  
を交える」を主題に益  
満社長が講演した。  
創業者の益満和幸氏が  
日本初でスプリングラー  
(イスラエル製を紹介し

(株)サンホ

ープ東京

都目黒区中

目黒1-1-1

71KN代

官山4階・

益満ひろみ

社長は、

農業ワール

ドの開催2

日目に特別

講演とし

て「砂漠の

農業大園イ

スラエルに

学ばうハイ

テク農業へ

自動

化・省力化

が日本の農

業を交える

」を主題に

益満社長が



益満社長

て以降、同国との縁が深く、益満社長は昨年より日本イ商工会議所副会頭を務める。講演に先立ちノア・アッシュャー在日公使が「現在日本と技術協力に向けて連携しており、両国のアイデアを組み合わせるよい物を作るお手伝いしたい」と述べた。益満社長は、イスラエルの農地が52万畝と狭く年間降雨量も砂漠地帯の南部では30ミリのと少なく夏場は40度を超える過酷な気候でありながら世界最大規模の逆浸透淡水化設備(水1立方メートル60円)や120%と高い水再利用率、そしてドリップ灌漑率60%等と自動灌漑などハイテク技術の導入により単位面積あたりの生産性が高く自給率95%を達成しており、輸出も盛んに行う。そのドリップ灌漑はイスラエルで発明されたもので同国企業が世界シェア40%を有する。事例として露地ハウスもドリップ点滴とその自動灌漑は当たり前となったと紹介。また新技術として①風光・温度計を活用した環境制御型コントロール②衛星データと地点天気をクラウドに上げ、最適な灌漑制御をソ

フトのみで行う③成長を基本にした自動灌漑とそれをビッグデータ化したのAI利用(研究中)④ヒートポンプの冷水をパイプに通して外部から結露を取りドリップ灌漑⑤ワイヤレス土壌水分センサーのデータから灌水⑥ガルのコンの24系統同時制御コントロール(既報)⑦生産流通履歴や生産実績、機械管理、労務、コストを一元管理するGGAP対応ソフト等を紹介。最後に益満社長は「人間の勝手で水や肥料を与えるのではなく、作物がほしい時にほしただけ与えるのが重要だ。ハイテク技術で根本を大事にしたい」と話した。